

大 博物館だより

1989. 5.

No. 1

津山郷土博物館



將軍宣下に付津山藩主登城の図（部分）

この図は、嘉永6年（1853）11月23日、徳川家定が第13代將軍に任ぜられた際、津山藩主松平慶倫が江戸城本丸に登城するときの様子を描いた行列図である。

老中から「將軍宣下御規式これあり候に付、御家門方始、万石以上の面々、布衣以上の御役人并布衣以上寄合、且又、法印法眼の医師登城の事」という達しがあり、慶倫は六時（午前6時頃）に供を従えて鍛冶橋邸を出発した。

藩主の服装は束帯姿で、金造の錆剣を帯び、輦輿に乗っている。供の者も、布衣・素襖・八徳・白丁・麻上下を着ている。供頭・小姓組・留守居役・徒等の主だった家臣30名余、道具持・草り取・若党など総数165名の供を従えている。また、持参の道具は、金十字鎗・大熊毛鎗・傘・沓・茶道具・弁当等であった。

津山藩主は、將軍宣下の他に、上野の寛永寺に参詣する時等、年に数度束帯姿で輿を使用している。

昭和63年度 博物館事業報告

開館記念講演会

5月3日(火)

博物館開館を記念した講演会を5月3日に行いました。当日は、連休中でもあり多くの聴講者があり、講演のテーマは、次のとおりでした。

『津山城の復元について』

広島大学工学部 鈴木 充教授

『沼の弥生集落について』

岡山大学文学部 近藤義郎教授

夏休み子供歴史教室

8月5日(金)・6日(土)

夏休みを利用して、8月5・6日の両日、「夏休み子供歴史教室」を行いました。真黒に日焼した小学生達が、古代の人々の生活を体験学習する「考古学入門」に挑戦しました。土器と石器などの実物に触れ、土器につけられている文様がどのようにしてできるのか試した後、小さな「考古学者」達は、土器の復元にも挑戦しました。復元作業は、破片をくっつけたり、石こうを使ったりする細かい作業でしたが、子供達にとっては、印象深い体験のようでした。



美作の文化財めぐり

11月23日(水)・3月19日(日)

美作地方一円にある文化財を、広く一般の人に知ってもらうために、「美作の文化財めぐり」を計画しました。

第1回目として、久米南町の誕生寺周辺の文化財を散策しました。誕生寺は、浄土宗の開祖法然の誕生の地でもあり、また秋の特別展「法然と浄土教」との関連もふくめた見学会となりました。この誕生寺には、鎌倉時代の作である木造阿弥陀如来像をはじめ多くの宝物が伝えられ、これらは宝物館に展示されています。2回目は、久米町の久米庵寺周辺を見学しました。この地域には、多くの古墳や、古代寺院跡・郡衙跡等があり、古代から交通の要衝であった事がうかがえます。

このような見学会を年4回計画しています。

特別展 法然と浄土教

10月8日(土)～11月6日(日)

法然は長承2年(1133)、美作国久米郡稲岡荘に生まれました。9才で父と死別し、13才の時上京し比叡山延暦寺に入り出家した。そして43才の時専修念仏の教えを確立した。これは以後の浄土教の隆盛の基礎を作った画期的な教説であった。

この展覧会では、郷土の生んだ宗教家法然の生涯をたどり、その人物と思想を改めて再発見しようと試みたものである。

主な展示品

| | | |
|--------------|-------|---------|
| 絹本著色法然上人像 | 南北朝時代 | 知恩院 |
| 絹本著色法然上人像 | 室町時代 | 光明寺 |
| 絹本著色法然上人絵伝 | 室町時代 | 知恩院 |
| 紙本著色法然上人伝法絵 | 鎌倉時代 | 岡山県立博物館 |
| 絹本著色善導・法然二祖像 | | 知恩院 |
| 紙本著色拾遺古徳伝断簡 | 南北朝時代 | 岡山県立博物館 |
| 木造阿弥陀如来立像 | 鎌倉時代 | 誕生寺 |
| 印仏阿弥陀如来立像 | 鎌倉時代 | 誕生寺 |
| 刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 室町時代 | 誕生寺 |



記念講演会

古文書講読会

6月9日～11月26日(10回)

6月から11月まで、10回の古文書講読講習会をおこなった。2時間の講習時間で、30名の定員である。参加者は、津山市内よりは市外の方が多く、また、各地で文化財保護に携わっておられたり、数年来古文書に親しみ、それぞれにグループを作って勉強会を開いておられるため、初心者も数名であった。

講習会は、博物館が開館して第1回目の講座ということで、テキストには近世文書として各地に残る一般的なものを利用した。森・松平氏から家臣宛の知行状、領知目録、町方・村方の宗門改手形、田畑売買証文、屋敷買入証文、書簡等である。

講習会は10回で終わったが、参加者より続けてほしいとの希望があり、3月までに月1回であるが自由参加の勉強会を行った。

平成元年度 博物館事業の御案内

特別展 津山狩野派の絵師たち(仮題)

10月14日(土)～11月12日(日)

博物館では、第2回特別展「津山狩野派の絵師たち(仮題)」を、10月14日(土)から11月12日(日)まで開催する予定です。

狩野派の絵画は、室町末期から江戸時代にわたって、全国的に繁栄した武家絵画の代表的な流派で、狩野家が幕府の御用絵師に任ぜられると、諸藩でも同派系の絵師を採用した。津山松平藩における狩野家の祖は狩野洞学で、享保5年(1720)に藩に召抱えられた。洞学没後家系は断絶するが、弟子が狩野姓を継いで、下記のような如水系と如林系のふたつの狩野系が誕生する。

如林系 如林一如林(松甫)一如春
如水系 如水一如真一如慶

津山市史講座

- 趣旨 津山を中心とする美作地方の歴史を通史的に学習します。
- 日時 平成元年7月22日(土)～11月11日(土) 計5日間 午後1時30分～3時30分
- 学習内容

| 開講日 | テーマ | 講師 |
|----------|-------------|-----------------|
| 7/22(土) | 美作の古代寺院 | 岡山理科大学講師 亀田修一 |
| 8/19(土) | 近世のタタラ製鉄業 | 岡山県立博物館主任 田村啓介 |
| 9/9(土) | 美作の中世(仮題) | 岡山県史編纂室主任 田中修實 |
| 10/14(土) | 岡山県中国山地の旧石器 | 岡山理科大学助教授 小林博昭 |
| 11/11(土) | 山中一揆について | 岡山大学付属図書館 中野美智子 |

- 定員 40人
- 受講料 無料
- 申込方法 受講希望者は電話・直接又は郵便で、津山市教育委員会社会教育課(☎23-2111 内線2652・2653)へお申し込みください。

近世絵画の調査 5月中旬～7月下旬

郷土資料の把握は、博物館の重要な事業である。今年度は、近世絵画とその所蔵者の実態を、市民の協力を得て調査を行うもので、対象とする絵画は、狩野派・南画派等である。

| <出版物案内> | | (送料別) |
|-----------------------------|--|---------|
| ○絵ハガキ(8枚セット) | | 300円 |
| ○特別展図録『法然と浄土教』 | | 1,000円 |
| ○『津山産パレオパロキシア産出調査報告』(紀要第1号) | | 900円 |
| ○常設展示解説『美作の歴史と文化』 | | 800円 |
| ○江戸一目図屏風複製品 | | 10,000円 |

夏休み子供劇場 8月6日(日)

美作の民話を素材とする創作人形劇。
星とりあまんじゃく あまんじゃくは空の星をとろうとして石をどんどん積み上げました。そして…
出演 人形劇場やっこ 11:00、14:00開演

夏休み子供歴史教室 8月3日(木)・4日(金)

小学生を対象とした歴史教室ですが、今年も昨年同様、考古学を中心に、古代の人々の生活の一端に触れる体験学習を計画しています。

7月頃に一般公募します。

講座 中世文書を読む 5月20日～1月20日(8回)

古文書とはある発信者から別の受信者へ何らかの意志を伝えるための書類のことで、歴史の一コマを生々しく伝える貴重な史料である。

この講座では平安末から室町時代にかけての中世文書の影写本を輪読しながら、中世美作の政治や社会を学習するものである。

日時 5月20日(土)～1月20日(土) 8回
(受講申込はメチました)

美作の文化財めぐり

今年度は、5・9・11・3月の4回を計画しています。第3回目は5月28日に、作東町の土居周辺を散策しました。土居は江戸時代の出雲往來の宿場であり、本陣跡や一里塚等の文化財が残っています。また、この地域には古代寺院跡も多く、土居・竹田の両廢寺が知られていますが、瓦等出土以外は、詳細は不明です。次回からは、勝央町の古墳と窯跡、柵原町の月の輪古墳などを順次見学していきます。参加料は無料ですので、文化財に興味がある方は、どうぞ参加下さい。



作東町蓮花寺

平成元年度博物館事業一覧表

| | 企画展・特別展 | 教育活動 | 研究活動 | 普及活動 | |
|----|----------------------------------|--|--------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 4 | 企画展 大名の世界 4/1～5/7 | | | | |
| 5 | | | 『津山城復元模型製作報告書』の作成 ○刊行 | 第3回 美作の文化財めぐり 5/8 作東町方面 | |
| 6 | | 中世文 津 | | 近世絵画の調査 | 博物館だより No.1 の発行 |
| 7 | | | | | |
| 8 | | 夏休み子供歴史教室 8/3・8/4 | | | 夏休み子供劇場 5/8 「美作の民話人形劇」 |
| 9 | | 書を讀む 7/22 8/19 9/9 10/14 11/11 山市史講座 | | | 博物館だより No.2 の発行 |
| 10 | 特別展 津山狩野派の絵師たち 10/14～11/12 | | | | 第4回 美作の文化財めぐり 9月下旬 |
| 11 | | | | | 第5回 美作の文化財めぐり 11月下旬 |
| 12 | | 5/20 6/17 7/15 9/23 10/21 11/18 12/16 1/20 | | | |
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | 第6回 美作の文化財めぐり 3月下旬 |

<博物館入館案内>

- 開館時間 午前9:00～午後5:00
 - 休館日 毎週月曜日・祝日の翌日
12月27日～1月4日 その他
 - 入館料 小・中学生 100円 (80円)
高校・大学生 150円 (120円)
一 般 200円 (160円)
- ※ () は団体、団体は30人以上

★博物館だより No.1

発行年月日 平成元年 5月31日
編集・発行 津山郷土博物館
〒708 岡山県津山市山下92
TEL (0868) 22-4 5 6 7